

**〈単元〉音をきき合って合わせよう**

■活用教材

ミュージックベルMB-C 23音基本セット

ねらい

- 1.音の重なり合いを感じ取る力をつける
- 2.児童全員に音の重なりを感じさせることができる
- 3.大型楽譜は、各音が色別に表記されているため、読譜指導の導入にも活用することができる

効果

- 1.学習に対する児童の興味・関心を引き出すことができた。
 - ・模範演奏を聴かせることで、各音をあわせたらどのような響きになるかを理解させることができた。
 - ・「みんなで上手に演奏がしたい」という児童の思いを引き出させ、学習に対する意欲の向上につながった。
- 2.大型楽譜を活用することで、楽譜の見方が理解できる。
 - ・各音が色別に表記されているので、低学年でも無理のない読譜指導ができ、楽譜の見方を理解させることができた。
- 3.授業の活性化につながる
 - ・ベルを振るだけで音ができるため、演奏するのに特別な技能を必要とせず、誰でも楽しんで合奏に参加することができる。また、一音だけでは曲にならないため、みんなで協力して演奏しようとする態度を

養うことができる。また、どこでベルを振ればよいか、まわりの音をよく聴くため、集中力がつく。

一音一音が重なり合って曲ができるという構造を理解させることができた。

短時間で合奏の楽しさを味あわせることができた。

各音が色別に表記されている大型楽譜を活用することで、読譜指導の導入として効果的であった。

実践内容

低学年でも容易に合奏ができる教材であり、音の響き、合奏の楽しさを体感させる指導を展開する。

導入

付属のCDによる模範演奏を聴かせる。

- ・児童に合奏する楽曲の模範演奏を聴かせた。

展開

全体で合奏する場面で活用。

- ・付属の大型楽譜を見ながら演奏させた。各色が色別で表記された楽譜なので、低学年でも無理なく合奏が楽しめた。

まとめ

演奏しての感想を聞きあう場面で使用。

- ・CDの模範演奏と自分たちの演奏を聴くことで、演奏しての感想発表が効果的に行えた。



大型楽譜を見ながら、曲を演奏しているところ

実践事例で活用された教材

ミュージックベル

8-257-0805 MB-C 23音セット

税込 ¥63,000



こんな授業を
提案します!

ミュージックベルを演奏しよう!

●指導目標

- ①ミュージックベルの基本演奏法を知る
- ②曲演奏に取り組む

●学習指導略案

題材指導計画 (全体で3～5時間)

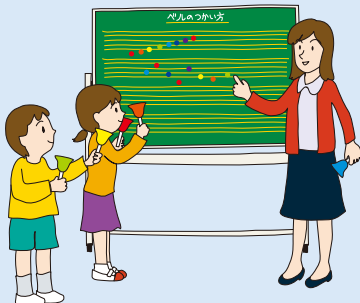
第1次 ミュージックベルの理解 (色と音階の関係、持ち方、基本奏法)
1～2時間

- ・ミュージックベルの特長、ベルの持ち方、姿勢、演奏の仕方。
- ・ベルの音域と音の名前 (色との関係)、音階の関係を理解させる (各ベルに名前を付けることも良い)。事前に、先生はミュージックベルがMB-Cでない場合、各ミュージックベルの取っ手に色テープ (Cは赤、Dは橙など虹の色の順に) を巻いておく。
- ・みんなで協力しないと演奏できないことを理解させる。

第2次 「きらきらぼし」の演奏

2～3時間

- ・ソフト教材 (MB-C用) がない場合は、事前に模造紙などに音符に色を塗った (ベルに対応した) 楽譜を作っておく。
- ・ソフト付属のCDで演奏を聞き、曲全体を理解させる。
- ・鍵盤ハーモニカなどで音を教える。
- ・ベルの割り当てをする。
- ・何人かでメロディをつないで演奏してみる。
- ・全体で合奏してみる。
- ・発展的に2重奏を演奏してみる。



●評価の観点

- ①基礎的な演奏方法が身についているか。
- ②仲間と協力しながら曲演奏に取り組んでいるか。

●評価の内容

- ・活動に取り組む姿勢。

●使用した教材

- ・ミュージックベル MB-C 23音基本セット

ミュージックベルはこんな場面でも利用できます



- ベルを使って神経衰弱。
ゲームを通して音に親しめます。
(ベルは2セット必要です。ハンドルの音名は隠します。)

- 音楽を通してお年寄りとの交流もはかれます。



その他の教材紹介



ミュージックベルMB-GN

8-257-2831 27音セット (携帯ケース・スタンド付)

税込 ¥67,200



ミュージックベルMB-GEN

8-257-3811 20音組セット (携帯ケース・スタンド付)

税込 ¥161,700



ミュージックベル演奏指導用ビデオ

2-248-1100 基本編

税込 ¥6,300

国語
社会
算数
英語
生活
技術
家庭
図工・美術
音楽
体育・保健
道徳
特別支援